

ジャパンプラブ

NEWS LETTER

Japan Club : 1759 Sutter Street #203, San Francisco, CA 94115 • Tel: 415-931-9424 • www.jpclub.org • jc-sf@sbcglobal.net

12月度理事会報告

2011年を表す漢字に「絆」が選ばれました ジャパンプラブの目指す所はまさにこの「絆」です

我々ジャパンプラブは「相互扶助」を目的に1995年7月14日に設立されましたがこの相互扶助を可能にするのはまさに会員同志の「絆」に他なりません、1995年に始まった「今年の漢字」はその年の世相を反映した一字が選ばれています、1995年の「震」は阪神淡路大震災を反映し、1998年の「毒」は和歌山カレー毒物混入事件、2001年は米国同時多発テロを受けて「戦」更に2004年は台風、地震、豪雨、猛暑など記録的な天災を受けて「災」が選ばれています、この様に数年おきには災害や事件、事故等を受けて暗い字が出て来ます、これからも自然災害は避けられないものですが、今年の漢字「絆」は日本での大災害を乗り越え、再起する為に家族、友達や地域の人々の絆が如何に力強く、大切かを想い込ませてくれました、ジャパンプラブに於いても日頃から会員同志の「絆」を深める努力をしていきましょう。

ジャパンプラブ12月度の理事会は12月10日(土)午後4時からサンマテオの榎木マーケット2階において上野会長初め12名の理事が出席して開かれました。

引き続き議題に沿って以下の事柄が話し合われました。

1)「餅つき新年会」について

来年の1月29日(日)に開かれる「餅つき新年会」について、基本的な担当者及び参加費について話し合われました。まず、餅つきについては例年通り沖山泰彦理事、福光哲史副会長を中心に機材の手配、餅米等の調達を依頼し更に細部については1月の理事会で決める事にします。また粕汁を中心にする食事については、大槻悦子副会長、榎木隆子理事が材料調達等を行い、柏原紀子、下村昌子理事が補助する、おなじく詳細は1月の理事会で決める、また新しい試みとして「お赤飯」を取り入れる。(申し込み用紙が同封されています)

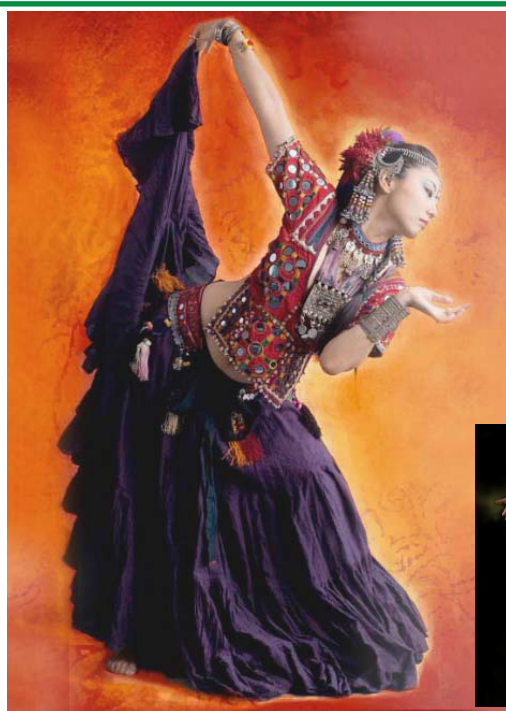
更に今回のエンターテイメントに沖山理事の紹介で安満沙和子さん(American Tribal Style Belly Dances Troup)をお招きし素晴らしいベリー・ダンスを紹介していただきます。(下記の紹介記事参照)

2) 理事会の開催日時などについて

かねてから議論されて来た理事会の開催日時、場所等について以下の様に決定いたしました。理事会は一般会員にもオープンですのでご都合のつく方はぜひご参加ください。

- ・理事会は原則として毎月第2土曜日に開催する
- ・1・3・5・7・8・9・11月は午後1時からサンフランシスコ日米会内のジャパンプラブ事務所
- ・2・4・6・10・12月は午後4時からサンマテオ榎木マーケット2階で、但し12月は理事会の後慰労会を開く(会費制)

これにより、1月の理事会は1月14日(土)サンフランシスコ日米会内、ジャパンプラブ事務所に於いて午後1時より開かれます。



安満 沙和子
あま さわこ

日本の仏教寺院で生まれ育つ、その環境で得た靈感が彼女の舞踏表現の重要な要素である。American Tribal Style Belly Dances Troup の一員としてサクラメント地域で活躍し、心身の調和に焦点を置いた高度の舞踏を提供、毎年日本で指導も行なう。



年末のご挨拶を申し上げます。

2011年は日本で東北大震災とそれによる原発事故そして欧州ではギリシアに端を発した金融危機と実に多難な年でした。

それらの原因を探ってみると東北大震災は別として根本には人間の驕りがあったような気がします。

東北大震災だって被災者の皆さんは本当に気の毒ですが、そんな大きな津波は無いであろうと高を括ったところに落とし穴があったと言えなくはありません。

我々ジャパンプラブもそのような観点から今年を総括し、新年に繋げて行きたいと思えます。

会長 上野正安

“風評加害”者にはならぬよう

日本に帰国された湯浅 昭さんからご寄稿いただきました

今も福島県を中心として原発事故のあった近隣諸県の産物出荷停止、観光客の激減、仮設住宅など大震災と原発事故の風評被害ニュースは新聞、雑誌、テレビで毎日、嫌というほど目や耳に入ってきて我々の神経を苛立たせ心配させている。

数日前の新聞で風評被害ならぬ「風評加害」という言葉が初めて目にとまった。被害者がいるなら必ず「加害者」がいるはずである。その「風評加害」者は誰あるう、風評被害を毎日のように書きたてている各種メディア自身なのではなからうかという。

私達は3月11日東北大震災の日にはまだ米国サンフランシスコに在住しており近々の日本への永住帰国のため引越し準備で大わらわだった。しばらくして、日本の親戚、友人・知人からは東北の地震・津波後の大混乱、それに伴う交通・物流混乱で、東京のように離れた地域でも影響は大きく、店頭の食料品日用品は品不足、ガソリンは何時間も待たねば買えず、生活上の支障もかなりでているようだから帰国は暫らく見合わせたほうが良いという忠告が相次いで送られてきた。然し、米国の出国手続き、老齢年金国外受給手続き、アパートの解約、引越し荷物の保管、待機中の宿泊場所、飛行機の予約など、全て4月始めの出国予定で準備を進めてきた私達にとって出国の延長はそう簡単なことではない。

日本からの忠告はとて有り難く、充分考慮に入れながらも私達は予定通り4月始めの帰国に踏み切った。羽田空港に降り立ちタクシーで空港近くのホテルに向かったが途中の町並みを見る限り特に震災による混乱的な事象は感じられなかった。数日後、予定した都内の空き家に移り住み新生活の設営を始めた。毎日近くにある家具、カーテン、寝具、台所用品と食料の調達に出かけたが特に目立った品不足は無く何の不便さも感じなかったと行ってよいだろう。尤も、私達は在米45年後の帰国なので浦島太郎の感覚で事象を観察しているので日本在住者ほど敏感でないのかもしれない。勿論、買い物、設営などで自分達によるいくつかの失敗は免れなかったが地震とは関係ない。

私が言いたいのは、善意の親戚、友人・知人が送ってくれた忠告には今も大変感謝しているし、彼等もまた結果的に日本の各種メディアによる「風評加害」に影響された「風評被害者」だったのではなかったかと思われふしもあったかと思う。

何処の国も似たりよったりだが、政治・経済・健康、生活、自然環境などたくさん問題を抱えており、それに関わる報道は好むと好まざるとに関わらず毎日たくさん目や耳から入ってくる。これ等をどう理解、止揚し、対処するかは我々自身の問題であるができることなら人に影響を及ぼす「風評加害」者にはならぬよう留意したいと願うものである。

＜話の種＞ 間 寛平

私の抱える＜前立腺＞トラブルの検査で度々＜国立病院機構・東京医療センター＞を訪問しているが、昨日は待合室で順番を待っていたら何処かで見かけた(実物を今までは見たことないが)顔の人がいた。同行した家内にも確かめてもらったが、間違いなくコメディアンの間寛平である。

彼が昨年世界一周マラソンの途中、サンフランシスコで前立腺ガンの治療のため足止めされた話は日本のテレビや新聞にも度々報道されたことであるが私もサンフランシスコで見て知った。特にコメディアンには興味は無いのだが、この人がサンフランシスコで治療を受けた同じ医者にも以前に面接し医療診断を受けたことがあったからである。

病院の待合室の退屈を紛らわすために、間寛平さんの隣席に行き自己紹介した。テレビの画面と異なり最初こわばった顔をしていたが私がサンフランシスコで同じ病気で同じ医者にかかり、半年程前に日本へ帰国し、この病院で継続診療を受けることになったと言ったらやっと本来の笑顔になり、＜そうですか!＞と喋り話が続き、同病相哀れむと言うよりお互いに頑張りましょうと言って別れました。

私に同伴した侑子はサンフランシスコで或るスーパーが用意した色紙に世界一周マラソンにたいしての激励と病気の早期回復を祈る署名をしたそうですが、それも確かに有り難く受け取っていると書いていました。

彼は既に診療を終えていたので間もなく奥さん同伴で病院を立ち去りました。それだけの話!!

日本に帰国された湯浅 昭さんからご寄稿いただきました

前立腺がん、早期発見の為に PSA検査

前立腺がんは、中高年男性に多くみられるがんで、男性が最も気をつけなければいけないがんの一つであり、特に50歳代の男性からは気をつけなければいけません。

PSA検査とは、前立腺がんを発見するための血液検査で、PSA値が高いほど前立腺がんが疑われます。PSAとは、前立腺で特異的に作られるたんぱく質の一種で、健康な人の血液にも存在します。しかし、前立腺の病気になると血液中に流出し、PSAが増加するため、前立腺がんの可能性を調べるとともに、早期発見のための指標として用いられています。

PSA検査はごく少量の血液があれば測定が可能で、通常の血液検査と合わせて簡単に行うことができます。

前立腺がん検診の最近の研究結果から、PSA検診の受診により前立腺がんが死亡する危険が低くなることがわかりました。

前立腺がんは、初期症状も少ないため発見が遅れがちですが、早期に治療すれば完治も十分に可能です。とくに、50歳を過ぎた方は、ご自身の健康管理のために、是非、前立腺がんに関心を持ち、定期的にPSA検査を受けることが、前立腺がん対策の第1歩として大切です。

この記事は Blue Clover と云う団体のウェブサイトに乗っていた物を一部転載させていただきました。尚、このサイトのURLは <http://www.blueclover2011.jp/> です。ご興味のある方は一度アクセスしてみてくださいはいかがですか? 事務局